



東村山稲門会ニュース 第176号

平成23年11月 5日発行
発行責任者：小亀 輝雄
編集者：中村 眞弓
042-391-0581

URL <http://members3.jcom.home.ne.jp/toumonkai/>

会からのお知らせ

○ 平成23年12月 定例役員会

日時 平成23年12月10日(土) 13:00～14:00
場所 サンパルネ・コンベンションホール
14時30分より映画会「二十四の瞳」

○ 第75回 雑学講座 (映画会)

日時 平成23年12月10日(土) 14:30～17:30

場所 サンパルネ 2F コンベンションホール

映画題目 「二十四の瞳」 (原作壺井栄、監督木下恵介、主演高峰秀子、昭和29年)

この映画は 昭和前期戦争の時代を背景に 若い女教師と12人の子供たちの成長の中での喜びと悲しみを綴った国民的傑作である。高峰秀子の魅力、子供たちの愛らしさに加えて、全編に小学唱歌と叙情歌が散りばめられ、叙情性豊かな名作である。

戦争に押し流されていく人々、貧困に悩まされる人々の 日々の生活を激昂する事無く描く事で、静かに反戦を主張している。

○ 第16回東村山稲門会総会

日時 平成23年11月20日(日) 14時～総会・記念講演
17時～懇親会(会費5千円)

場所 サンパルネ・コンベンションホール

(まだ出欠のご連絡をされていない方は、至急「はがき」をご投函ください。)

○ 他稲門会関連会議

11月 6日(日) 三多摩支部大会 早稲田実業学校 (14人参加予定)
11月12日(土) 小平稲門会総会 ルネ小平 小亀会長・當間副会長出席
11月12日(土) 小金井稲門会総会 小金井商工会館 福田副会長・岡田副会長出席
11月13日(日) 清瀬稲門会総会 清瀬アミューホール 小亀会長出席

○ 新入会員 (平成の卒業生一挙に6人入会)

野田 直さん 平成 7年 商学部 廻田町4-7-3
(江藤 昌明様ご紹介)

深野 聡さん 平成14年 政経学部 久米川町3-17-42

秋山 剛さん 平成18年 人間科学 本町2-16-10 セラード東村山407

大根田真也さん 平成17年 政経学部 萩山町1-40-26

森田 剛さん 平成18年 理工学部 国立市西2-5-7 エクセレンス国立201

國友 良平さん 平成19年 教育学部 所沢市上山口1661-6

以上5人(小林 俊治様ご紹介)

○ 退 会

大原 康さん (ご逝去)

藤巻 浩さん 自己都合

番場吉次さん (ご逝去)

会員数は204名となります。

☆ 大学関連ニュース

○ 応援部に初の女性リーダー誕生

創部71年を誇る早稲田大学応援部に、初の女性リーダーが誕生した。法学部1年の木暮美季さん（本庄高等学校出身）。目標は「観客全員が心を開いて、球場が一つになる応援を作ること」。小御門俊郎監督は「部に新しい風を吹き込んで欲しい」と期待を寄せている。そのうち東村山にも来て貰いたいですね。

○ 競争部の「寮メシ」レシピ本に

60人が暮らす早大競走部の寮のレシピが本になって発売される。10月1日発売（主婦の友社）。多彩なレシピは、部活動で運動量の多い中高生にも合う。アスリートの「勝てるごはん」のヒントになりそう。



「素人下宿」

鍋島 高明（S34政経）

初めて東京に来たのが昭和30年だからもう56年になる。学生時代は西武新宿線沿線の素人下宿を転々とした。当時は賄い付きの素人下宿が盛んだった。最初は新井薬師前で、定年を過ぎた老夫婦が小遣い稼ぎに玄関脇の2間を学生に住まわせていた。同郷の先輩T氏と一緒にだった。T氏の部屋には、後年名を成す倉橋由美子さんが時に遊びに来た。ここでマージャンを初めて教わった。老夫婦と先輩と小生の4人で家庭マージャンを楽しんだ。

それが、半年で野方に移ったのには訳がある。なにしろ食い気の盛んな18歳ときているから、朝はパン一切れ、夕べは小さなドンブリー杯の「盛り切り」ではとても身が持たない。野方に下宿する友人の情報だと、「我が家の主人は石川島の職工さんで力仕事をやっているから、下宿人は朝も晩も食べ放題。」とのこと。主人の晩酌のおこぼれを頂戴することもあるとか。早速引っ越すこととなる。

引越しの朝、老夫婦がさびしそうな顔で見送ってくれた。マージャンのメンツが不足するのがさびしいのか、我が郷里から定期的を送ってくるコメが途絶えるためだったか。引っ越しと云っても、持ち物は蒲団袋一丁と机代わりのミカン箱（木製）と教科書くらいのものでからタクシーで十分。

野方には2年ほどお世話になった。駅前に古本屋があつて、夕方など俳優の佐分利信をよく見かけた。そこから上石神井に引っ越したのは財政負担を軽減するためである。野方より大分遠く不便だが、なにしろ安いのが魅力で、3畳・押し入れなしで我慢することにした。近くに松本清張の新築の邸宅があつて、よく田舎道をステテコ姿で自転車をこいでいた。「点と線」や「眼の壁」で印税がうなっていたところで、辺りを圧する白木造りの豪邸だった。石神井時代に郷里の両親が東京見物に上京したことがある。家主が気を利かせて夏休みであいている部屋を使わせてくれたのだった。

やがて沼袋に移る。家庭教師のアルバイトをやって稼いだお金で初めてラジオを買った。月賦で買ったことを郷里の母親に知らせると、「何とみっともないことをしてくれたことよ」と嘆かせてしまった。月賦とは借金の同義語で「やってはならないこと」であつたらしい。沼袋では無線学校に通う大阪出身のK氏と同宿だった。休みが終わって帰京すると、蒲団がなくなっていた。蒲団ドロボーなど聞いたことがない。一体なぜ。

するとK氏がやってきて「ゴメン。ゴメン。明日帰ると聞いていたもので」といって懇意にしている質屋に飛んで行った。蒲団を質屋に入れるとはK氏もよほど質草に窮したとみえる。それにしてもよく1人で運んだものである。夜半、人目を避けるようにして他人の蒲団袋を担ぎ、質屋に向かうK氏の悲しげな姿を思う時、懐旧の情が込み上げてくる。最近ではめっきり少なくなったが、当時の学生にとって質屋は必須の金融機関であつた。高田馬場駅前にスズヤ質店という大きな質屋があつてなぜか、ホイットマンの『草の葉主義』を宣伝文句に掲げていた。民衆の味方だという意味だろうか。店主の鈴木璃江さんは業界の顔でもあつたが、今もご健在だろうか。

第74回雑学講座報告



平成23年10月8日
ふるさと歴史館・視聴覚室

「キャリアカウンセラーという仕事」

講師 荻野 晃氏 (S41年政経)

講師は大学卒業後、当時典型的な慶応閥の会社で昭和38年によく早稲田にも門戸開放した鐘淵紡織（カネボウ）に入社され、そのうち18年間にわたって労働組合活動を経験し、定年退職後は雇用問題への強い関心から日本マンパワーにおいて今日まで10年近く、再就職支援の仕事に携わっている。講話の内容は幅広いもので、雑学という定義についての解釈の違いなどからの講話の内容へのコメントなどユーモアあふれる話しぶりですすめられた。

氏の主な仕事は中高年者を対象とした再就職支援、行政の主催するセミナー、さらには大学における就職指導セミナー（早稲田のエクステンションスクールでも始めた）では就職活動のノウハウ、知識指導の講師を務めている。社会人としての基礎能力を身につけさせることが重要で、初歩的な事柄として、たとえば関連書類においての名前の誤字などはかなり重要な指導点の一つともなる。

キャリアカウンセラー（CC）は厚労省が力を入れており、その定義によれば「労働者が、その適性や職業経験等に応じて自らの職業生活設計を行いこれに即した職業選択や職業訓練の受講等の職業能力開発を効果的に行うことができるよう、労働者の希望に応じて実施される相談」となっている。全国で5万人の資格者を目指しているが現状では2万9千人にとどまっている。CCの仕事の場はハローワークが全体の26%と最も多く、他に企業内CC、大学内（キャリアセンター）、民間就職支援機関などとなっている。ハローワークもいまでは相談員は昔のように役人ではなく、民間人になっている。

現在日本の失業者は270万人（広島県の人口なみ）、失業率4.7%のうち、再就職支援のCCが直接支援しているのは僅か1%、3万人前後。CCが預かる個別案件は個人のポータブルスキルをいかに引きだすかが重要で、職務経歴書も書けない求職者が多い。ここで講師は来場者の個人のポータブルスキル、職務経歴書をテスト出題。—（筆者も実際は戸惑い、満足に書けなかった。）

退職後の生活設計を考えてみた時、ライフプランの3つの要素は「生きがい」—仕事、趣味などのキャリアプラン、「健康」—健康管理プラン、「家庭経済」—老後の生活資金・医療や介護などの保障プラン—マネープランとなるがこれを大きく（8）の数字でくくるとわかりやすい。— 平均余命85000時間（40年×250日×8.5時間）、その間の平均生活費8000万円（25万円×12ヶ月×22年+奥さん15万円×12ヶ月×10年）。80年、8万時間、8千万円と覚えておくとよいとのこと。

講師が直接携わったカウンセリングの中から2例の職務経歴書のサンプルについて解説されたが原点は顧客指向であること、それを読んで受け入れ側が魅力を感じ取れるように自分のポータブルスキルをいかに具体的に表現できるか、また職務経歴書からその人の人間的な魅力をいかに表現できるかという点をCCが協力して指導してゆく事例である。

CCの能力も求職者の潜在しているポータブルスキルをいかに引き出し得ているかによって人気カウンセラーの差がでてくるとのことであった。

もしこのようなCCの仕事の興味をもたれるかたは、高橋宛にご連絡ください。荻野氏に紹介させていただきたいと思います。

（文責 高橋 正夫）

☆稲門祭、開催される

10月16日(日)、明け方まで降り続いた雨もやみ、今年も稲門祭が盛大に開催されました。稲門祭は、全国57万人校友の祭りです。イベントも多彩。講演、パネルトーク、寄席、稲門女子プロによるゴルフクリニック、映画、稲門音楽祭などなどが行われました。特に今年は、慶応連合三田会大会との協働企画が実現し、早慶校友の蔵元のお酒を販売し、コラボ企画を記念して限定のグラスも販売されました。

また、豪華景品が当たることで大好評の福引抽選会ですが、今年は「職域賞」と「ふるさと賞」が各1名のほか、6名に「残念賞」が当たったにとどまりました。来年を期待したいと思います。ご協力、ありがとうございました。(高鷲)

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

合同ウォーキングの会

世話人 高橋正夫 TEL 309-3407

今回は狛江稲門会との合同ウォーキングとなります。ご都合のつく方の参加を歓迎します。

日時：11月18日(金)

集合場所と時間：東村山駅国分寺方面ホーム中ほどに8時45分集合。8時53分の電車に乗ります。

コース：「三鷹天門台見学と深大寺・野川公園を巡る」

天文台で10時30分に狛江稲門会と合流し、見学後、深大寺まで歩き、全員で深大寺そばを賞味したあと、別行動となり野川沿いを歩いて野川公園→多磨駅までウォーキングを楽しみます。お疲れのかたは深大寺前よりバスで三鷹、小金井方面へのバスがあります。

武蔵境経由多磨駅→天文台(見学)→深大寺(昼食)→野川→野川公園→多磨駅

合計約12キロ

交通費、昼食、飲み物代は各自負担。

雨天の場合は高橋まで朝7時半までにお問い合わせをお願いします。



第27回ウォーキング記 (9月19日)

残暑も終わりに近づいた敬老の日、今回も15名の参加で盛況でした。

青梅線軍畑(いくさばた)で下車、青梅街道を15分くらい歩いてから多摩川の溪谷に下り、上流に向かいます。

川沿いの道は多少のアップダウンはありますが結構整備されていました。ところどころに見頃を迎えた曼珠沙華が咲いていて見事でした。

御嶽駅の下、御岳小橋(吊り橋)の脇で昼食をとり、さらに上流へ。

橋を渡って対岸から下流に戻ります。玉堂美術館を見学し、近くの店で喉を潤してから帰途につきました。

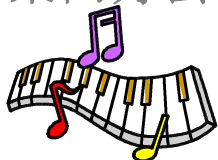
なれない道を歩いたせいか、美術館見学よりも「喉を潤し・・・」の欲求が強かったように感じたのですが、気のせいでしょうか？

参加者：青山、阿部、市川、小亀夫妻、小林、高橋、滝来(京)、豊田、額田、福田、町田、吉沢夫妻、吉田(敬称略)

(阿部 記)

音楽同好会(稲穂会)

世話人 高橋文子 TEL 393-2676



◎次回例会について

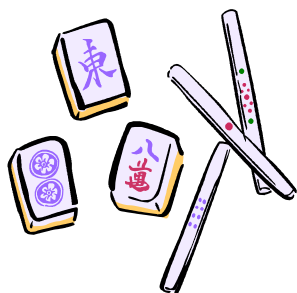
日時 12月4日(日) 13時より

場所 恩多ふれあいセンター(多目的室と和室)

会費 一人500円

麻雀同好会

世話人 小 野 智 TEL 3 9 1 - 9 5 2 3
松 永 常 尚 3 3 2 - 5 6 2 1



第 5 4 回大会を 9 月 2 5 日（日）今回から新たに場所を移し東村山ヨーカー堂近くの麻雀「園」で午後 1 3 時から開催しました。参加者は 1 2 名（3 卓）でした。

今までの会と違って今回は競技中アルコールを口にする人がなく、これは初めてのことでした。優勝者は出場 2 回目の額田氏が得点 5 3 で見事栄冠を勝ち取りました。準優勝は當間氏で得点は 3 6 でした。

以下参加者は赤荻、阿部、小野、小亀、佐野、田口、土橋、中川、松永、三宅の各氏でした。競技後の所感として、ここ数回優勝者の得点数が低くなり、且つ参加者の得点差が僅差となっていますが、この事は全員の技能レベルが向上し、平均化してきたものと思われます。

大会後はホームグラウンドの久米川「丸藤」に集まり、世話人から次回の改正ルールの説明があり、その後中国旅行から帰られた田口さんからの差し入れの中国酒等を頂き、飲み放題で大いに盛り上がり、和気藹々の中で終了しました。

次回は 1 2 月 1 7 日（土）、今回と同じく「園」で開催の予定です。大変楽しい会ですので、初めての方も是非世話人に連絡のうえご参加下さい。

第 5 5 回大会

下記の要領にて開催致したく、ご案内致します。

記
日時 1 2 月 1 7 日（土）
集合 1 2 時 4 0 分
開始 1 3 時（6 0 分 4 回戦）
場所 麻雀サロン 園 TEL 3 9 4 - 4 4 4 4
東村山市本町 2 - 1 - 1 5（東村山駅東口下車徒歩 2 分）
会費 7, 0 0 0 円（懇親会費込み）
締め切り 1 2 月 1 0 日（土）

今回は 1 2 月号ニュースでのご案内ですと、開催日までの日時の猶予がありませんので、1 1 月号ニュースにてお知らせする次第です。尚、開催日が日曜日ではなくて土曜日になっていますので、皆さん会の為、今から当日に○印をしておいて下さい。

多数のご参加をお待ちします。

（松永 記）

俳句同好会（稲酔会）

世話人 井 垣 和 太 04-2924-2934



第 5 8 回は 1 0 月 2 2 日（土）、午後 2 時から「丸藤」で開催しました。

参加者は井垣稲雀、幸田瑞雄、小永井哲哉、内藤慎、出田麦穂の 5 名。投句参加は、栗島三郎、風間和夫、小亀稻生、高部糸行、戸田梶、丸本北窓、八木竜湖の 7 名。なんと投句者が出席者を上回るという珍事となりました。秋の行事の重なりと、ここへ来ての体調のトラブルなどもある様です。

それでも、集まった句は 6 0 句。一人あたりいつもの倍の句を清記することになりました。選句もいつもより多い 1 人 1 0 句選として、じっくりと時間をかけて、鑑賞、合評をして大いに勉強となりました。

互選の結果、今回の最高点句は

宴終へ老舗旅館の十三夜 和夫

が満票で選ばれました。

俳句のあとは、早稲田のクラス会から駆けつけて来られた北窓さんも加わり、賑やかに懇談会食の場が繰り広げられました。

次回第 5 9 回は 1 2 月 2 4 日（土）、午後 2 時から「丸藤」で開催いたします。

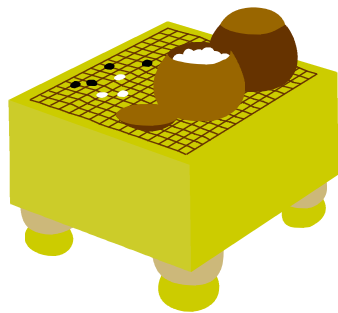
兼題は「年忘れ」（忘年会）です。

（稲雀 記）

囲碁同好会

世話人 福田 晃
高 鷲 近

TEL 394-0593
394-2336



●「第23回東村山稲門会囲碁大会」が10月15日(土)、市民センター別館第4会議室で開催されました。

当日は朝からの雨で開催が心配されましたが、雨もあがり、12名が参加して、A、Bの二つのグループに分かれ、熱戦が繰り広げられました。その結果、Aグループでは堀田さんが見事に連覇、次回より6段でうっていただくことになりました。

Bグループは、Aグループ以上に大混戦で、とうとう決着がつかず、次回の「例会」(下記参照)で優勝者を決めることになりました。皆さん、お疲れ様でした。

<参加者/敬称略>

Aグループ……福田晃・鈴木・堀田・高鷲・佐久間・野村

Bグループ……丸本・江藤・中川・一色・田島・杉山

○次回の「例会」は、12月17日(土)を予定しています。まだ予約できていませんので、詳細につきましては次号の「ニュース」でご案内します。

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎

TEL 393-5071



10月例会を10月8日行いました。メンバーの都合等の理由から参加は4名と少なく、寂しさが有りましたが大いに元気に歌い上げ、盛り上がりしました。

12月の優勝大会に向け各自作戦を考えて楽しい一夜を過しました。

今後の予定は、

11月 5日(土) 19:10 カラオケランド ズー

12月10日(土) 19:30 カラオケランド ズー

稲門会の行事で映画会が行われますので時間が少し遅れると思いますが、忘年会を兼ねて開催しますのでご了承願います。開催は19時30分となります。

ゴルフ同好会

世話人 井垣 和太
石川 武

TEL 04-2924-2934
394-4702



12月16日(金)忘年ゴルフのお誘い

暦はもう少しで今年も終わりですね。そこで、年末恒例の忘年ゴルフ会を、定例のコースで下記のように実施したいと思います。乗用カートはなく、歩いて回るコースですが、平坦ですので無理なく歩けます。

コンペではありませんので、のんびりやりましょう。お知り合いを誘って頂くのも勿論オーケーです。

記

開催月日 : 平成23年12月16日(金)

場所 : 飯能ゴルフクラブ(埼玉県飯能市)

費用 : 約18,000円(飲食等別)

申込先 : 11月20日締め切りで世話人の井垣和太まで

知っ得ゴルフ 13番ホール 一動いたボール

林の中に打ち込んでヤレヤレと思いながら来てみると、ボールが落ち葉の上にかかっており、柏餅の葉を半分はがしたような状態。そーっと抜こうとしたらコトリと動いた。

さあどうしますあなた。「こうやってやんべー」と、昔懐かしい林由郎プロ流で行く?

ボールを動かさずに木の枝や、葉、石ころなど動かせる障害物(ルースインペディメント)を取り除くことは出来ませんが、もしもボールの位置が変わったときは、1打罰で元の位置に置き直す(リプレース)のが正解。いつも6インチプレースでやっている人には関係ないことなのでしょうが……。

「お客さん。モゾモゾしてないで、サッサとどけてよ。あんたに付いてる小枝。」

(井垣 記)

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



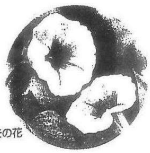
10月例会は、10月3日（月）の15時から17時まで久米川コート3番にて行われました。快晴で気温21度と絶好のテニス日和でした。

参加者は、ウィークデイのため5名と少なめでしたが、ほとんど休む間もなくプレーし、心ゆくまで楽しみました。

参加者（敬称略）：當間、滝来（京）、福田（昇）、野田、田島
〈今後の予定〉

10月30日～31日 合宿

12月18日（日） 9時～11時 運動公園 Aコート



サツマイモの花

「サツマイモの花」

北野 二郎（S46教育）

三年前になりますが、2009年9月下旬、本州ではほとんど咲かないサツマイモの花が咲いた。サツマイモの花は、沖縄などでは開花するが、花芽がつく時期に気温が下がる本州では、まずお目にかかれない、とても珍しいという。私もはじめて見ました。

ニュースや新聞記事になる程の出来事が、東村山市富士見町の畑でおき、皆で目にする事ができました。とはいえ、自分に畑があるわけではなく、勤めていた学校のごく小さな農園で授業（総合科、生活科、技術家庭科）の一環として畑の管理や観察をするなかでのことでした。朝早く、朝露に濡れ繁茂するサツマイモの葉の中から薄紫色の花がチラチラと覗いていました。サツマイモは、ヒルガオ科の多年性植物で花の姿は、一見アサガオのようである。桔梗にも似た凛とした、とても綺麗な花でした。

なぜ、東村山でもサツマイモの花が咲いたのか？調べてみると、温暖化の影響、この年の高温傾向など考えられるが、次の年から今まで咲いていない、近年の猛暑でも咲かないことから気温だけではないようだ。振り返ると、この年、苗の植え付けが遅れて、どの園芸店や種苗店でも既に苗は売り切れて、やむをえずJA東村山に尋ねると、少ない数なら分けられる農家があると聞き、早速購入したものである。その分、収穫も遅くなりましたが、品質はとても良かったです。因みに昨年の猛暑の年は花も咲かず、芋の出来映えもあまりよくありませんでした。植え付けのタイミングや気候の変動など諸因が重なって花が咲いたのだらうと思う。

さて、暑さや乾燥にも強く、やせ地でも育つことから、サツマイモは逆境に強い野菜として有名である。そのため、飢きんや食料難などに備えて救荒作物として広まった。サツマイモに救われた命も少なくない。やせ地に育つのに、その栄養価はとても高くバランスもよい。とても不思議だ。恵まれない、むしろ厳しい環境の中でも立派に育ち、利用価値の高い、素晴らしい野菜である。サツマイモに限らず、野菜は負荷のかかった厳しい環境の中で育ったものの方が品質がよいといわれる。

人間にも同じことが言えそうだ。風雨を避け、大事にされることだけがよいわけではない。厳しさに耐え、ひたすら自然の栄養を吸収し、その実は人の救命にも役立つサツマイモのように、逆境に強い心を持ちたいものです。人の生き甲斐や幸せも、世のため、人のために努力することで実現できるものと思う。

ところで、収穫の喜びは子供達の表情に素直に表れる。とても嬉しそうで幸せそうである。早速、調理実習に利用され様々な料理となって食卓にならびます。スイートポテト、てんぷら、大学芋、お味噌汁の具としてもよい、中でも子供達の一番人気は、意外にも焼き芋でした。その甘い香りで、食す前から皆を幸せな気持ちにしてくれるのです。また、サツマイモの蔓を使って、クリスマスリースや行事での王冠づくりに、葉は子供達が好きな昆虫の幼虫の餌として利用、大活躍のサツマイモに感謝！

20センチ程の一本のサツマイモの苗から沢山の芋が収穫できる。植え付けから収穫そして、調理まで、サツマイモを育て観察することで学ぶことは多い。子供達の喜ぶ顔を見る楽しみに、サツマイモの花が今年は咲くかどうか？新しい楽しみが増えた。



同好会等 短期予定表

同好会・行事	11月 (ニュース掲載月)					12月 (予定)					世 話 人 (問合せ先)	
	日	曜	時 間	場 所	備考	日	曜	時 間	場 所	備考		
ウォーキングの会	18	金	8:45～	三鷹天文台・深大寺		—	—	—	—		高橋正	042-309-3407
郷土史の会	6	日	13:30～	ふるさと歴史館		—	—	—	—		江藤	042-391-4076
テニス同好会	12	土	9:00～11:00	運動公園A		18	日	9:00～11:00	運動公園A		田島	042-395-2817
	26	土	9:00～11:00	運動公園A	予備日	25	日	9:00～11:00	運動公園A	予備日		042-395-2817
囲碁同好会	—	—	—	—		17	土	13:00～	市民センター別館		高鷺	042-394-2336
カラオケ同好会	5	土	19:10～	カラオケランド		10	土	19:30～	カラオケランドズー		内藤	042-393-5071
園芸の会	9	水	15:00～17:00	スポーツセンター		—	—	—	—		當摩	042-396-3033
麻雀同好会	—	—	—	—		17	土	13:00～	イトーヨーカドー隣サロン園		小野	042-391-9523
音楽同好会	—	—	—	—		4	日	13:00～16:00	恩多ふれあいセンター		高橋文	042-393-2676
俳句同好会	—	—	—	—		24	土	14:00～	「丸藤」2階		井垣	04-2924-2934
ゴルフ同好会	10	木	8:00～	久邇CC	校友会	16	金	9:00～	飯能GC	有志	石川	042-394-4702
雑学講座	—	—	—	—		10	土	14:30～17:30	サンバルネ	映画会	當間	042-391-6023

訃報

当会会員番場吉次さん(秋津町・S26政経・85歳)には10月6日ご逝去なされました。心からご冥福をお祈り致します。

なお、奥様から10月9日にご連絡を頂き、すでに通夜(10月8日)告別式(10月9日)を済まされておりましたので、10月11日に小亀会長・當摩副会長およびポストマンをして頂いております額田幹事、麻雀同好会から小野幹事、土橋幹事、松永世話人の6人でご自宅に弔問に伺いご香典を差し上げお花をお供えし、お焼香をさせて頂きました。

編集局だより

○次号の原稿締め切りは11月25日(金)です。よろしくお願いいたします。(中村)

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳 壇

秋行くと雫く夜干しの祭足袋 菊田 一平
 映画館の跡が近道秋の暮 幸田 瑞雄
 鎌倉の路地に香華の金木犀 小亀 稻生
 ふるさとの稲穂の波の奥の寺 小永井 哲哉
 蛇笏忌や戸山が原は月明かり 高部 糸行
 柿盗み母を泣かせし疎開先 戸田 梟
 対等に父子の表札萩こぼる 高部 糸行
 青空と柿を見ている齒科の椅子 高部 糸行
 半年の工事中断ねこじやらし 戸田 梟
 鎮魂の墨田の花火秋に咲く 戸田 梟
 子規詠みし景想いつつ食べる柿 戸田 梟
 池の主来る日近ずき秋深し 内藤 慎
 色づきし柿の彼方に浮かぶ雲 丸本 北窓
 病床に来る人途絶え柿熟す 丸本 北窓
 魂魄とふたりで見たり後の月 八木 竜湖
 蓑虫やスローライフの友とせむ 八木 竜湖
 三山をめぐる土砂堰厄日過ぐ 栗島 三郎
 庄之助秋を最後の勝名乗り 栗島 三郎
 古き家またひとつ消え秋深む 井垣 稻雀
 秋うらら古戦場の磴二段 井垣 稻雀
 黙禱の三十秒間秋深し 出田 麦穂
 屋根覆うブルーシートや柿熟る 出田 麦穂
 ふるさとの水煌めくや稲穂垂れ 風間 和夫
 たたなづく山の辺静か柿日和 風間 和夫
 宴終へ老舗旅館の十三夜 風間 和夫
 時刻む音ばかりして秋の夜 風間 和夫